

挿入式電磁流量測定調査業務仕様書

第1章 総 則

1. 1 適用範囲

- (1) この委託業務仕様書（以下「仕様書」という。）は、岡山市水道局（以下「発注者」という。）の発注する挿入式電磁流量測定調査業務委託(単価契約)に適用する。
- (2) 設計図書に記載された事項は、この仕様書に優先するものとする。

1. 2 監督員

受注者は、委託業務の履行にあたっては、監督員の指示に従い実施するものとする。

1. 3 現場責任者

- (1) 現場責任者は、監督員の監督又は指示に従い、委託業務に関する一切の事項を処理しなければならない。
- (2) 現場責任者は、原則として変更できない。ただし、死亡・傷病・退職・出産・育児、介護等やむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者とするものとし、受注者は発注者の承諾を得なければならない。

1. 4 疑義

受注者は、委託業務の実施中に疑義を生じた場合は、監督員と協議し、その結果を後日疑義が生じないように記録整備しておくものとする。

1. 5 委託業務実施計画

受注者は、契約締結後速やかに委託業務実施計画書を作成し、監督員に承認を得なければならない。計画書には「業務概要」「作業方法」「工程表」「現場組織」「安全対策」等を記載すること。

1. 6 打合せ等

- (1) 現場責任者は、事前に監督員と十分連絡をとり、主要な打合せには必ず出席するものとする。
- (2) 監督員と協議・決定した事項については、後日疑義が生じないよう記録整備し、監督員の確認を得るものとする。

1. 7 資料等の貸与及び返還

- (1) 監督員は、図面及び関係資料等を受注者に貸与する。
- (2) 受注者は貸与を受けた際、協議記録簿に記録し、相互に確認すること。
- (3) 必要がなくなった資料は、直ちに監督員に返却するものとする。

1. 8 委託業務の施行

- (1) 作業の重要な段階においては資料を提出し、監督員の指示または決定を受けてから次の作業を進めるものとする。
- (2) 現地をよく調査し、地形的条件や既設構造物、他工事との関連を考慮して実施すること。

1. 9 法令等の遵守

- (1) 道路法、道路交通法、水道法その他関連法規を遵守すること。
- (2) 住民、通行者に迷惑を及ぼさないよう注意し、地下埋設物等に支障を与えないよう十分注意すること。

1. 10 関係官公庁等への手続き等

- (1) 発注者が行う手続きに協力し、受注者自身が必要な手続きは速やかに行うこと。
- (2) 官公庁等から交渉を受けた際は、遅滞なく監督員に報告し協議すること。

1. 11 土地の立入等

- (1) 民地等に立ち入る場合は、使用者または所有者の承諾を得て調査すること。
- (2) 業務従事者証（名鑑等）を常に携帯し、関係者の請求があったときは提示すること。

1. 12 軽微な変更等

仕様書に明記のない事項や、重大な影響のない軽微な変更は、監督員と協議により補完するものとする。

1. 13 検収

受注者は、あらかじめ成果品及び資料を整え、現場責任者が立会のうえ検収を受けるものとする。

1. 14 手直し

成果品に不良箇所が発見された場合や、関係官公庁からの指示があった場合は、受注者の責において速やかに訂正・補足を行うこと。

1. 15 成果品の帰属

成果品はすべて発注者の所有とし、承諾なく公表、貸与、使用をしてはならない。

1. 1 6 守秘義務

- (1) 業務で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。
- (2) 貸与された情報の外部漏洩や目的外利用の恐れがある場合は、速やかに発注者に報告すること。

1. 1 7 損害負担

受注者の責に帰する理由により損害を生じたときは、原則として受注者において負担するものとする。

1. 1 8 提出書類 / 1. 1 9 完成図書 / 1. 2 0 完了検査

指定期日までに所定の様式・部数で提出し、必要に応じて現場責任者立会いのもと完了検査を受けること。

1. 2 1 委託業務完了期限

履行期間には、雨天、休日（日・祝・夏期・年末年始・全土曜日）を見込んでいる。

1. 2 2 保険加入の義務

雇用保険、労災保険、健康保険及び厚生年金保険に加入しなければならない。

第2章 挿入式電磁流量測定調査

2. 1 適用範囲

この章は、挿入式電磁流量測定調査業務委託(単価契約)に適用する。

2. 2 作業範囲

- (1) 設計図書に基づき、発注者が指示する調査場所において、挿入式電磁流量計により水道施設の流量測定調査を行う。
- (2) 調査に必要な機械器具類、工具類、道路標識等はすべて受注者の負担とする。

2. 3 現場責任者の資格

現場責任者は、本業務の遂行にあたり技術上の管理に必要な能力と経験を有し、発注者が認めた者でなければならない。

2. 4 作業計画

受注者は、作業工程について着手前に監督員と十分協議し、原則として作業前日に監督員に連絡して指示を受けるものとする。

2. 5 作業方法

受注者は、次の事項に従って作業を行なうものとする。

i) 準備作業

- (ア) 必要に応じて調査地点付近の住民等への広報を行なう。
- (イ) 配管図及び諸資料で現場の把握をし、測定前に機器の整備点検を行なう。
- (ウ) 消火栓内に滞水している濁水を排水し、口金部分の動作状況を確認する。

ii) 測定作業

- (ア) 測定は、単口消火栓、双口消火栓、空気弁付消火栓及び空気弁（以下「消火栓等」という）の弁筐内において実施する。
- (イ) 消火栓口金にセンサを取付け、装置内の空気を抜いた後、消火栓を全開にする。
- (ウ) 口金から配管までの深さを確認し、継足し（シャフト）を調整し適正な位置センサを設置する。
- (エ) 測定の日時、調査時間、測定間隔は監督員の指示によるものとする。
- (オ) キー操作により動作チェックをするとともに測定値の表示を確認し、メモリーへ記録する。

2. 6 完成図書（報告書）

受注者は、調査完了後速やかに調査結果を分析し、以下の内容を含む報告書を作成し提出すること。

(1) 管内流速、流量、及び流向がわかるデータとグラフ。

(2) 監督員の指示による作業記録写真（明瞭なもの）。

(3) 提出部数：

- ・ 報告書一式：1 部
- ・ 報告書（測定グラフ、写真を除く）：1 部
- ・ 電子媒体：C D－R（データー式） 1 部